資料２

第3回宮城県消防操法大会のあり方検討会

# 方向性絞り込み後の検討事項

# 1 【選択肢A：1種目化】の場合の具体検討項目

## 1.全国大会代表の選考

■ 選考方法

●県大会（1種目）の優勝チームをそのまま選出

## 2. 開催事務・運営体制

● 前提：県消防課・県消防協会（既定）に加える「運営の分担方式」を決定します。

■パターン①：事務局の輪番制（地区支部持ち回り）

・ 主幹事務局の輪番順序・策定ルールの作成

⇒〇：負担は数年に一度　×：担当時の開催の負担集中

■パターン②：全地区支部からの人員選出（共同運営）

・ 各地区支部からの役員・競技係員等の選出人数・割り当て方法

⇒〇：負担の平準化　×：開催年は必ず負担が発生する

## 3.大会会場の選定ルール

■パターン①：会場の輪番制（地区支部持ち回り）

・ 地区支部間での輪番順序・策定ルールの作成

⇒〇：負担は数年に一度　×：担当時の開催の負担集中

■パターン②：会場の固定化（1か所）

・ 設置場所の選定

⇒〇：会場選定が不要　×：固定会場の負担

■パターン③：抽選制

・ 決定事項：抽選方法および選定ルールの作成

⇒〇：順番等の策定が不要　×：準備の備えができない

## 4. 費用負担について

■パターン①：運営担当支部の負担

・これまでのように当該年担当する支部による負担

⇒〇：負担は数年に一度　×：担当時の開催の負担集中

■パターン②：全地区支部からの拠出（共同運営）

・ 各地区支部から費用を持ち寄り負担する

⇒〇：負担の平準化　×：開催年は必ず負担が発生する

## 5. その他の見直し事項

・ 開催時期の見直し（酷暑対策・日程調整）

・ 開閉会式の簡略化（時間短縮）

・ 運営設定・会場設営の簡素化

# 2 【選択肢B：大会廃止】の場合の具体検討項目

## 1.全国大会代表の選考

● 選考方法の決定（いずれか、または組み合わせ）

■ 出場隊の輪番制（地区支部持ち回り）

⇒〇：負担は数年に一度　×：担当時の負担

■ 手上げ（希望）制

・ 複数地区から希望があった場合の選考・抽選方法

⇒〇：ある種公平な選定　×：抽選結果の偏向可能性

■ 代表内定時期の設定:

・ 準備期間を確保するための早期決定ルール

（例：大会の1年前決定など）

## 2. 地元での「実践訓練」の充実

■ 日常・実践的訓練へのシフト

市町村・分団単位で実施する実践訓練（山林火災・水害対応、機材点検等）への取り組みを地域の実情に応じた形でどのようにしていくべきか